

テレビも子供も親しだい

加治章さん(NHK)講演会

2月28日(日)、黒埼中学校視聴覚教室で青少年育成町民会議の一環として、加治章さんの講演会が開かれました。加治さんはNHKの連想ゲームなどを担当されたおなじみのアナウンサーです。

当日は、浅妻町長、各小、中学校の先生方をはじめPTAの方々約230名が出席されました。加治さんはさすがはアナウンサー、放送局の人。このように話しました。「現代はテレビ時代。しかし、ただ見ていないで選んで見ましょう。また、見方を変えれば低俗と呼ばれる番組も興味深い。子供といっしょにテレビとうまくつきあってください。」—1時間半の講演終了後、さかんな拍手がおくられ、内容の濃さを物語っていました。

庁舎建設候補地審議される

議会庁舎建設調査特別委員会

議会の総合庁舎建設調査特別委員会は、二月二十五日(木)、役場議場で十回目の会議が行われました。会議では、各委員がそれぞれに分担して、候補地にあげられた地域の住民代表者と懇談会や意向調査などを行った結果について討議が進められました。この特別委員会が審議されている候補地は、金巻地区、鳥原新地区、柳作地区の三地区です。また、昨年十一月には先進地の南魚沼郡大和町を視察しました。今後も、議会と町と一体となって調査研究を重ね将来を見通したよりよい場所を考えていくものです。

議会総合庁舎建設調査特別委員会委員

- ◎佐藤 寅一 泉 喜一郎
- 大野 周助 時田 善二
- 磯部 博 黒川 繁一
- 鳴海 敏雄 石附 寅一
- 渡辺 武七 坂井 行康

私の視点

町長

浅妻 次一郎

今日、厳しい社会構造の変化により、農業後継者がいないという問題は、国の命運にかかわる問題である。これを自由な立場から国内的に見た場合と、国際的に見た場合と違ってくるのは当然である。と同時に工業立国か？農業立国か？国際分業論も出てくる。さらに自給？輸入？もある。自給の場合、他産業との比較で生産コスト高となり、これを調整すれば過保護と批判を受け意欲を失う。輸入を選択すれば現代農業は壊滅するという今日、主食である米が過剰となってしまう。

今年水田利用再編対策の第二期目に入った。米を減らして不足している穀類を増産し、総合食糧生産体制復合経営が考えられる。しかし、米を生産する土地基盤の整備と栽培技術の向上、食糧制度による米づくりなどは数えあげればきりが無い。

そこで中核農家担い手及び育成推進委員会の活躍とご協力に對し、深い敬意と感謝を申しあげます。

さて、紙面の関係で結論を急ぎたいが、現状を憂う場合は未来を考え、未来を考えるには過去、現在を考える。つまり古きをたずねて新しきを知る。そこ

今号の特集では多くの人に登場願いましたが、共通して言われたことは「スポーツの汗がいい」ということです。スポーツは語る、聞く、読むものでなく、動く、ものなのでしよう。「地域スポーツの時代に」を書かれた田村功さんは、三年前に県派遣社会教育主事として本町へ赴任され、多くのスポーツ事業を手掛けられました。この三月で任期を終えられますが、田村さんなくては本町のスポーツの振興はなかつたでしょう。



無理なく
むだなく
むらなく
楽しく実践

100日運動とは—

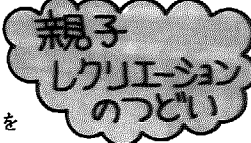
家族ぐるみで、(親子で兄弟で夫婦で)スポーツしようというもの。そのスポーツも、ラジオ体操、なわとび、野外活動(ハイキング、スキーなど)、スポーツ行事への参加など気軽なものでいいのです。教育委員会から4月に「スポーツカレンダー」を全家庭に配布しますのでそれに記録してください。達成者には新潟県教育委員会から「認定証」が交付されます。

お問い合わせは、教育委員会へ(7-5211)

お母さんもお父さんもボクも私も元気に体を動かそう

とき 3月28日(日)・5月5日(木)・6月13日(日)・8月8日(日)・9月5日(日)・10月2日(土)

総合体育館
小学生親子でゲームや野外活動を行います。費用は1,000円
★この親子レクをお手伝いして下さる方を募集します。いっしょにやりませんか。
お問い合わせは体育館まで(7-5211)



人より一汗多く

まだまだ、スポーツしてい



黒埼山の会の大岡文子さん

「五十一年の町民登山に参加して、『山の会』に入会させていただきました。新潟市の『泰山会』も入っています。」「一年に十回山に行きますが、去年は、白馬岳から唐松岳の縦走がすばらしかったですわ。」「おととしまで、毎日二キロは走ってました。今年の目標ですか……中央アルプスです。」

さあ、あなたも始めよう



剣道連盟の佐藤正義さん

2月28日(日)、山田小体育館。「相手よりも1本でも多く、少しでも早く動け」と佐藤さんの声。子供たちが動く。パシッパシッと竹刀(しない)の音。

「私は、技術を教えてはいません。礼儀や思いやりの心、を子供たちに教えたいんです。」山田小で始めたのは51年。現在、小学生53名と中学生数名を一人で指導されている佐藤さん。その苦勞も並たいていではないはず。

山田、立山小の小学生を4月から新たに募集するそうですので、希望者は各小学校へ。



剣道連盟山田支部のみなさん

特集を終えて

今号の特集では多くの人に登場願いましたが、共通して言われたことは「スポーツの汗がいい」ということです。スポーツは語る、聞く、読むものでなく、動く、ものなのでしよう。「地域スポーツの時代に」を書かれた田村功さんは、三年前に県派遣社会教育主事として本町へ赴任され、多くのスポーツ事業を手掛けられました。この三月で任期を終えられますが、田村さんなくては本町のスポーツの振興はなかつたでしょう。